

黒谷川 河川災害復旧助成事業の効果

事業概要

黒谷川は、会津朝日岳に源を発し伊南川に合流する流路延長約27km、流域面積158km²の一級河川です。本河川は、平成23年7月新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けたため、平成24年2月に黒谷川河川災害復旧助成事業の認可を受け、概ね30年に1度発生する洪水に対応できる、安全で自然と共生する川づくりを目指して河川改修を行いました。

計画概要

- 事業費 約35億円
- 事業期間 平成23～27年度
- 計画流量 850m³/s (計画規模1/30年)
- 河床勾配 1/150～1/130～1/80
- 川幅 54.0～73.0m

黒谷川下流部 (国道289号^{バンザイ}万才橋上流付近)



堤防決壊箇所の復旧

《地域の皆さんの声》

目黒長一郎さん
(只見町商工会長)

「従業員も安心して暮らせるようになり、商工業の再建にも繋がりました。」



菅家達朗さん
(黒谷区長)

「安心感が高まり、地域の皆さんが喜んでいきます。関係の皆様方に感謝を申し上げます。」



小沼武夫さん
(黒谷林野会長)

「林野会で管理する共有地が、河川改修を通じて地域の安全と発展に寄与できて良かった。」



小山浩二さん

(2工区現場代理人:山星建設株式会社)
「自然石の使用に苦労しましたが、出来栄は自然と調和しており、環境を守りながら地域の復旧・復興に貢献できて良かった。」



事業箇所

